

「火星の石」万博で初の一般公開

4月に開幕する大阪・関西万博で展示される世界最大級の「火星の石」が26日、国立極地研究所(東京都立川市)から搬出され、大阪市の人工島「夢洲」の会場に向けて出発した。日本館で初めて一般公開される予定。石は、幅29センチ、奥行き16センチ、高さ17・5センチ。日本の南極観測隊が2000年に発見した。かつて火星に水があったことを示す鉱物が含まれており、科学的に重要な資料だという。



大阪・関西万博の日本館での展示のため、梱包(こんぼう)される「火星の石」=25日、東京都立川市(国立極地研究所提供)